

## 「糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法に関する観察研究 LICENSE-Observational Study : LICENSE-ON」のお知らせ

2015年度より、難治性高コレステロール血症に随伴して重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症を対象としたLDLアフェレシス療法が先進医療Aとして実施可能となりました。これまでの成績では、治療に導入された方における生命の転帰と腎臓病の転帰が改善する可能性ならびに治療の安全性が確認されています。今般、この先進医療Aを導入される新しい方の経過および転帰と、これまでに導入された方の長期的な転帰を観察する研究が計画され当院も参加しています。

### <研究対象>

当院腎臓内科で2014年12月1日以降、先進医療A「LDLアフェレシス療法」の規定に沿って治療が実施された患者さん

<研究期間>2025年3月31日までを予定しています。

### <研究内容>

性別、生年月、既往歴、合併症、原疾患歴、使用薬剤、治療開始日、治療内容、診療で行われた腎機能検査などの検査結果、治療後の経過・転帰などを診療録より調べます。

### <研究代表者>

金沢大学大学院腎臓内科学、医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学  
准教授 原 章規

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。研究結果は、研究代表者に情報を提供します。また、学会や出版物として公表することがありますが、いかなる場合でも個人情報が増えることはありません。プライバシーは守られます。本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。研究が始まった後でも自由に参加を取りやめることができますのでその際も担当医師にお伝えください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお伝えください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2021年4月5日

京都桂病院 腎臓内科 部長 宮田 仁美